

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



夏の空が広がる古賀海岸

特集

第2回定例会の主な審議	2～3
政務活動報告	
政策立案に向け、調査研究!	4～8
ここが聞きたい! 一般質問	9～15
常任委員会報告	16～18
視察受け入れ・次回定例会予定表	19

第80号

平成29年(2017年)

8月8日

発行責任 福岡県古賀市議会

第2回定例会の主な審議

平成29年第2回定例会（6月8日～26日）の主な審議の概要を報告します。

古賀市のまちづくり条例

継続審査の後 原案可決

3月議会で継続審査としていた「古賀市まちづくり基本条例」を可決しました。

この条例は、市民ら30人による策定委員会により、約2年をかけて素案を作成。第1回定例会に提案されましたが、「市民等」の定義について、議会の役割についてなど慎重審議が必要ということ

ことで継続審査としていました。議会閉会中の審査で総務委員会へ付託し、4月26日は所管課へ質疑、5月9日、5月19日、5月23日には自由討議を主とし委員会を開催し、審査を行いました。

委員から、制定後の市民周知は、なぜ市民の定義がないのかなど質疑がありました。

自由討議では、「市民等」に違和感がある、議会についての記述を詳しく、基本構想策定

だけではなく総合振興計画策定

にはなどの意見がありました。委員会としては、市民を定

義、議会の役割を追記、職員の

自己研鑽を明記した修正案を賛

成多数で可決。委員会として本

会議へ修正案を提出することを

決定しました。

最終日の本会議において、総務委員会に所属していない3人の議員から別の修正案が提出さ

れました。

討論は一括して行い、それぞれの修正案に対して、賛否の意見が述べられました。採決の結果、議員提出の修正案、委員会提出の修正案ともに賛成少数で

否決。動議による休憩をはさん

で、原案に対する採決を行いました。

その結果、賛成多数で原

案を可決しました。

採決の順番と採決結果

議員提出修正案	否決	賛成：反対 (6：12)
委員会修正案	否決	(7：11)
原案	可決	(14：4)

農地情報全国で公開

農地情報公開システム整備事業の実施にあたり、古賀市個人情報保護条例の規定により、議会の議決を求めるもの。このシステムを使用することで、日本全国の農地の地目・面積・農振法区分・所有者の農地に関する意向・耕作放棄地か否かなどをインターネット上で閲覧することができま

す。市民建産委員会に付託され、委員会、本会議ともに賛成全員で可決しました。



日吉地区の浜大塚線

浜大塚線上部工工事

工事請負契約の締結

浜大塚線上部工工事（PC5径間）を施工するため、一般競争入札により松尾建設株式会社福岡支店と請負契約を締結しました。契約金額は2億3176万8000円。一般競争入札9社中、8社が失格。橋梁部の開通は、平成31年か32年になります。

市民建産委員会へ付託し、採決の結果、委員会、本会議ともに賛成全員で可決しました。

岡部記念福祉会館、お別れ

庁舎横にある「古賀市岡部記念福祉会館」を取り壊すことになりました。昭和46年に建てられた福祉会館は、耐震診断の結果、耐震補強などが必要と判明。安全性が確保できないことから解体・撤去することになりました。跡地は駐車場として整備されます。



長年親しまれた岡部記念福祉会館

一般会計補正予算（第1号）

増額補正 123万2千円

ふるさと納税管理システム
導入委託 97万2千円

ふるさと納税管理システム
保守委託 26万円

- ・財源は財政調整基金繰入金
- ・ふるさと納税作業軽減のため

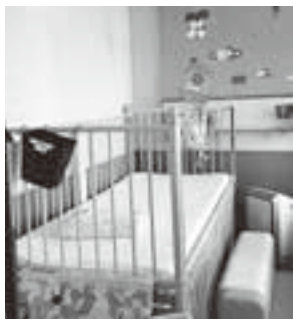
平成29年第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成29年6月8日～26日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明
4	古賀市まちづくり基本条例の制定	可決	14	4	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	古賀市まちづくり基本条例案に対する修正案(議員提出)	否決	6	12	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	古賀市まちづくり基本条例案に対する修正案(委員会提出)	否決	7	11	○	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
33	専決処分(古賀市税条例の一部改正)	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	専決処分(古賀市国民健康保険条例の一部改正)	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	専決処分(平成29年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	専決処分古賀市道における道路管理瑕疵に係る損害賠償	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	古賀市税条例の一部改正	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	古賀市岡部記念福祉会館設置条例を廃止する条例の制定	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成29年度古賀市一般会計補正予算(第1号)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	工事請負契約の締結(平成29年度社会資本整備総合交付金事業浜大塚線上部工工事(PC5径間))	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	通信回線を用いた電子計算機の結合(農地情報公開システム整備事業)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 ■は議員・委員会提出議案



明るい雰囲気の病児保育室内



文教厚生委員会 「たんぽぽ」

文教厚生委員会で、平成29年4月から福岡東医療センター内に開設された病児保育室「たんぽぽ」を視察しました。病児保育を利用するには、

文教厚生委員会

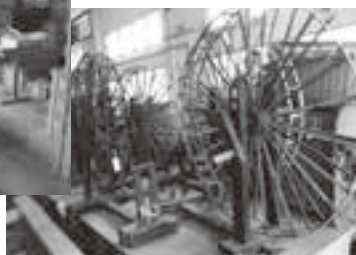
市内視察

6月14日

登録が必要です。1日の利用人数は3人まで。

古賀市・新宮町に住む1歳から小学6年生までが対象。利用料金は、1日2,000円。詳しくは、子育て支援課までお問い合わせください。

埋蔵文化財等収蔵庫



収蔵庫内に整理されている文化財等

古賀市内で発掘された文化財や、歴史的に保存すべき道具などが保管されている旧学校給食センターを視察しました。

け、調査研究！

古賀市議会では、議員の政策立案に向けての調査研究に役立てるため、必要な経費の一部として政務活動費が交付されます。1議員月1万円、年間計12万円です。政務活動費を活用した議員は、領収書(1円から)を添付した報告書を提出することが、義務付けられています。

ここでは、各議員からの報告の一部を抜粋し、調査研究の概要をご報告いたします。なお、報告書は、古賀市議会事務局および古賀市ホームページで閲覧することができます。

古賀市政務活動費 🔍 検索

田中 英輔

山海会

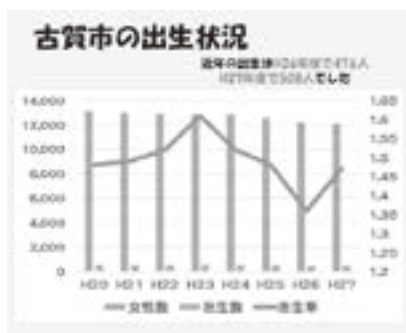
市政状況や活動の報告に

活用しました

平成28年4月

議会開催毎に議会の主な議題と問題、古賀市の状況、一般質問で明らかになった事などを整理した報告書の発行、報告会の開催などに活用しました。

報告書・報告会などの報告に対して、子どもの貧困問題への意見や改善提案。防災についての被災時の市の業務継続などへの意見を伺うことができ、その後の調査研究・提案や活動に活かすことができました。



報告資料の一頁

伊東 洋子

山海会

男女共同参画の視点で見る

熊本地震について

平成28年11月11日 福岡市

熊本市男女共同参画センター「はあもにい」館長藤井宥貴子さんの講演を聞きました。熊本地震では、自らも被災者でありながら、避難所での性被害防止の啓発、避難所の環境改善に取り組みました。女性や子ども、弱者支援の視点が不可欠なこと、備えておくことで減災につながるなど、多くのことを学びました。

災害に強い安全なまちづくり

伊万里市議会公開議員研修会

平成28年10月31日 伊万里市

大阪府和泉市危機管理担当主査奥山高起さんから「議員も職員も、他人事から自分事として主体的に防災に取り組むことが必要」など具体的な防災対策が示されました。

以上、2カ所の防災についての研修での学びは一般質問での提案につなげました。

古賀 誠視

山海会

地域公共交通総合研究所

第4回シンポジウム

平成28年8月10日 岡山市

小嶋代表の総括で公共交通への補助金制度の功罪や、地域公共交通の再建事例などを学びました。

議会報告の作成と配布

議会報告書を作成し、市民に報告しました。

市町村議会議員研修

平成29年1月19〜20日 大津市

「自治体財政の見方〜健全化判断比率を中心に」の講義で、強調されたのは、将来人口が急激に減少する。公共施設およびインフラ資産の維持管理・更新費の増加、民生費の増加など、自治体財政を中長期な視点で考察するべき。

財政健全化法で示されている4つの指標の見方や、求め方などについて研修を受けました。

伊東 洋子
古賀 誠視

政策立案に向

党派と

所属議員

○山海会

田中 英輔
伊東 洋子
古賀 誠規

○志成会

岩井 秀一
姉川 さつき
高原 伸一

○自由クラブ

松島 岩太
渡 孝一

○連

福崎 智之
阿部 友子
吉住 長敏
清原 哲史

○希来里

奴間 健司
村松 謙二

○公明党

井之上 豊
平木 尚子

会派に

属さない議員

○内場 恭子
○森本 義征
○結城 弘明

岩井 秀一

志成会

姉川 さつき

志成会

市町村議会議員研修

決算審査のポイント、

財政指数による財政分析、

行政評価の活用を学ぶ

平成28年7月13～14日 大津市
地方財政が直面する共通の課題として、高齢化による民生費の増大などによる歳出の硬直化や、インフラ資産の老朽化による歳出は高まるばかり。今後のまちづくりを行う上で、①優先課題の整理に基づく重点施策の明確化。②定量的、定性的な現状分析に基づく計画の策定。③施策目的と目標の明確化。④計画の進捗管理が可能な仕組みづくり。⑤施策や事務事業の管理責任の明確化が必要であるということでした。
課題を踏まえながらも、議会としては、しっかりと財政分析を行うことで真価が問われると痛感しました。

全国市議会議長会

研究フォーラム静岡

平成28年10月19～20日 静岡市
基調講演は、東京大学名誉教授の大森彌氏が「二元代表制と議会の監視機能」という演題で務められました。
議会の役割は、首長を「お手盛り機関化」させないこと。立案過程で、十分市民の意見を吸収したかなど、審議を通じて明らかにすること。それを政策提言としてまとめ、提出をすることが大事。本来、首長優位の制度だからこそ、議員間の議論と集約こそが議会の本質であるという言葉に、ますます政策推進会議は、今後大きな役割を果たしていくものと確信しました。

市町村議会議員研修

平成29年1月19～20日 大津市
岩井 秀一

日本女性会議2016秋田

平成28年10月28～29日 秋田市
姉川 さつき

高原 伸一

志成会

市町村議会議員研修

平成28年5月25～26日 大津市
決算審査における着眼点や分析など、財務書類4表の分析について、目的、政策体系、定量評価の理解、定性評価の理解、実際の評価視点の理解などについて学びました。

市町村議会議員特別講座

平成28年7月27～29日 千葉市
市民の思いと議会活動のギャップや、その対応策としての政策提案など（政策作りの原点、市民に伝える工夫、市民を励ます役割、行政を励ます役割、苦い選択と議員）を学びました。

地方議員研究会

平成29年1月25～26日 福岡市
質問準備とその前、質問準備の効果的な方法、議会や委員会での質疑取り取り向上研修、質問のその後と活用を学びました。

松島 岩太

自由クラブ

渡孝一

自由クラブ

福崎 智之

自由クラブ

都市計画区域での開発許可制度
および市街化調整区域での許可
可能な開発行為について

平成28年8月2〜3日 国土交通省

平成28年度は、古賀市総合振興計画の後期見直しの時期であることを鑑み、会派として最も関心の高い、また古賀市の屋台骨となる「土地活用」について調査、研究を進めてきました。

古賀市の「土地活用」の最大の課題は、市街化調整区域における開発手法です。

古賀市は、海から順に市街地を形成し、農村集落、里山といった美しい景観を有しています。一方、国道3号線エリアを境に、市街化区域と市街化調整区域に分かれて、数十年といった歴史を持つています。時代の趨勢によって、市街化区域への開発圧力は強まり、新たな産業の受け皿としての「土地活用」は、これからの古賀市のまちづくり

にとつて、欠かすことのできない喫緊の課題です。

そこで、**国土交通省都市局都市計画課**を訪れ、研究を進め

ました。古賀市の土地利用の方向性は、福岡県が平成23年に策定している「古賀都市計画」の影響下にあり、単体で将来ビジョンを描き出すことは困難であり、コンパクトシティづくりをめぐり、福岡県との整合性を図ること、また福岡県が新たに「古賀都市計画」を含む都市計画マスタープランの策定に着手していることを再確認し、改めて古賀市としても、福岡県の動向を注視した上で、古賀市総合振興計画の後期見直しや古賀市都市計画マスタープランの早期見直しの必要性を感じました。

会派として、引き続き「企業誘致」の受け皿となり得る「土地活用」、ひいては、市街化調整区域の有効活用や線引き見直し、飛び市街地の活用について、農政との関わりも十分見据えて取り組みを進めて参りたいと考えております。

また、玄望園開発にかかるスマートインターチェンジ(SI

C)についても、**国土交通省道路局高速道路課**を訪れ、SIC

の実現可能性、負担割合、準備段階での手続きの流れ、また全国開通箇所(84力所)の実情や事業中箇所(74力所)の進捗状況や課題、さらに準備段階調査箇所(15力所)についても調査を進めました。中山間地域の観光振興や、企業立地に伴うSICの効果についても認識が深まったと考えております。

調査研究を踏まえて、私たち会派『自由クラブ』は、古賀市には土地利用計画の全体像を描く必要性を再確認するとともに、国道3号線から二日市線、古賀インターチェンジ周辺までの全体的な土地利用計画の策定は急務であり、ゾーン化も含め、都市計画マスタープランの見直しを古賀市に対して求めていきたいと考えております。

奴間 健司

希来里

日本福祉大学教授の
訓。覇。法子先生の講演会

平成28年4月16日 福山市

スウェーデンと日本の福祉政策の違いを学びました。古賀市にある西部技研がスウェーデン名誉領事館になったので、古賀市で同国の福祉政策を広める講演会の開催をめざしたいと思えます。



訓覇法子先生の講演 (福山市)

地域公共交通総合研究所
第4回シンポジウム

平成28年8月10日 岡山市

他自治体の事例を学ぶと共に古賀市における公共交通のあり方へどう活かすかなどの政策を学びました。

村松 謙一

希来里

議会改革を考える議員研修

平成28年11月7日〜8日 大津市

情報公開や住民参加を積極的に実施している先進地の議会を学びました。

市町村議会議員研修

平成29年1月19〜20日 大津市

地方自治体の財政運営と議員の役割を学びました。

地域公共交通総合研究所

第4回シンポジウム

平成28年8月10日 岡山市

設備は自治体が担い、運営は民間に任せる「公設民営」の意義などを学びました。交通問題ではなく生活問題であるという認識で古賀市の公共交通の確立に活かしたいと思えます。

地方議員研究会

平成29年1月25〜26日 福岡市

議会や委員会での質疑のやりとりを向上させる研修会で、質問の準備のその前に、やるべきことや役所を動かす質問の仕方を学びました。

阿部 友子

連

市川房江政治参画

フォーラム2016

「教育が危ない！」

現場の課題を追う〜に参加

平成28年5月20〜21日

東京都渋谷区

特別支援教育の現状と課題、政治教育先進国の事例、道徳教育がどのように進み、その及ぼす影響について学びました。

全国自治体政策研究会議

おおいた日田大会参加

平成28年8月19〜20日 日田市

「人づくり・人つなぎ」をテーマにこれからの自治体のあり方を考え、地方分権で求められる議員像と人材育成について研修を受けました。

日本女性会議2016秋田に参加

平成28年10月28〜29日 秋田市

男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を学びました。

広報紙発行 年4回発行

議会ごとにその内容を報告する広報紙を作成、配布しました。



日本女性会議 2016 秋田

吉住 長敏

連

第2回市町村議員

特別セミナーへの参加

平成28年8月4〜5日 大津市

参加者は、全国106自治体243人。福岡県4自治体16人。うち古賀市議会から1人。

2025年の超高齢社会、人口減少社会の到来を見据え、地域での医療、健康、福祉分野で自治体を取り組むべき方向について精通講師や先進事例の知見などを習得しました。

講義1「医療機関・住民とともに地域医療を支える取り組み」

自治医科大地域医療学センター

センター長 梶井 英治氏

講義2「地域まるごとケア（医療現場から）」

東近江市永願寺診療所

所長 花戸 貴司氏

講義3「地域を健康にするまちづくり」

筑波大学大学院人間総合科学

研究科スポーツ医学専攻

教授 久野 譜也氏

事例紹介「介護予防の公的責任と自治体」

埼玉県和光市保健福祉部

部長 東内 京一氏



大津市研修所での受講の様子

清原 哲史

連

議会活動を報告

平成28年4月

ホームページでの情報発信や

フットワークニュース（議会だより）を手配り、戸別配布し、

市民の皆さんの身近な疑問や相談活動を行いました。

井之上 豊

公明党

株式会社美十（旧おたべ）

本社工場視察

平成28年7月12日 京都市

古賀市小・中学校の社会科見学の充実に向けて、視察しました。

市町村議会議員研修

平成28年7月13〜14日 大津市

「自治体決算の基本と実践」行政評価を活用した決算審査について。

平木 尚子

公明党

市町村議会議員研修

平成28年7月13〜14日 大津市

「自治体決算の基本と実践」行政評価を活用した決算審査について、決算の意義と審査のポイントを学びました。

決算では「ひと」「もの」「お

かね」の流れに着目していく、決算の結果を見て、予算を審議していくことにつながるということがわかりました。また、実際の決算書や評価シートを使っての学習で理解を深めることができました。

市町村議会議員研修

平成28年11月7〜8日 大津市

「議会改革を考える」先進事例に学ぶ住民参加・情報公開について学びました。

京都市の景観条例及び

バリアフリーについての視察

平成29年1月18日 京都市

観光拠点としてのまちのあり方について視察を行いました。

市町村議会議員研修

平成29年1月19〜20日 大津市

「自治体財政の見方」健全化判断比率を中心に」について学びました。

日本女性会議2016秋田

平成28年10月28〜29日 秋田市

男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決について、現状と今後の課題を基調報告で、また、2日目の分科会では、パネルディスカッション形式で、地域おこしに取り組む「地域おこし協力隊」の活動を学びました。

地域おこし協力隊は、古賀市での導入を一般質問で問いました。

内場 恭子

会派に
属さない議員

福岡女性議員ネットワークの
研修に参加

平成28年5月14日 福岡市
男女共同参画について、福岡
県内の男女共同参画の推進の状
況とその課題を研修しました。

女性と防災

―熊本地震の経験から―

平成28年11月11日 福岡市
熊本市男女共同参画センター
「はあもに」館長藤井宥貴子
氏を講師に、熊本地震時の避難
所などで子ども、女性、男性を
問わず性被害者を出さないため
の支援と対策を直ちに立ち上げ
た経験を学習。男女・障がい者・
高齢者・子ども・外国人など、
年齢性別を問わず、関係する人
のプライバシーの確保や、避難
所の運営、改善方法、啓発の実
際などを研修。避難所リーダー
育成や女性の視点の必要性を痛
感しました。

森本 義征

会派に
属さない議員

地域包括ケアシステム

平成29年3月30日 東京都目黒区
テーマ 「2025年に向けた
地域包括ケア」の研修。

概要 医療介護の急速なニーズ
の変化や解消されない特養待機
者問題について。

2025年を目標に住まい・
医療・介護・予防・生活支援を
一体的に提供する必要性や海外
の先行事例（北欧等）について
の解説など。

感想 住民力・支援力・受援力
の組み合わせ。地域の中で一人
ひとりの命を守る意識を広めて
いく取り組みの大切さを学びま
した。

保育待機児童問題と

自治体の役割

平成29年3月31日 東京都目黒区
テーマ 待機児童対策と地方自
治体の役割について。

感想 子育てに悩む親への対応
の基本。子どもを親、社会と自
治体が一緒に育てることの重要
性を学びました。

結城 弘明

会派に
属さない議員

新教育委員会制度基礎講座

平成28年10月11日 熊本市
震災復興中の熊本市内で水
野達郎講師の「議員としておさ
えておきたい教育委員会の組織
論」をテーマに受講。明治4年

の廃藩置県を機に、教育行政の
府の文部省が設置され、近代教
育が始まり、戦後、昭和23年教
育委員会制度が導入されまし
た。平成27年組織と運営の大改
革で新「教育長」は委員長と教
育長の一本化、首長権限が強化
されたなどの歴史を学びました。

全国市議会議長会

研究フォーラム静岡

平成28年10月19～20日 静岡市
東京大学大森彌講師の「二元
代表制と議会の監視機能」で近
年地方議会の役割は高まり、首
長と議会が相互に機能を発揮
し、自分の判断と行動が大切。

優位にある執行権者に、議会は
存在を示し、監視機能を果たす
ことで、住民福祉向上につなげ
ているかを検証することが問わ
れています。

政務活動費の使い道

古賀市議会においては、政務活動費に使用できる経費の範囲は、条例で規定していますが、使い道によっては、政務活動費にできない経費、あるいは議員個人の生活に係る支出が混在することがないように、次表のとおり政務活動費の例示表を示しています。

* 政務活動費の使途の例示

項目	内容
調査研究費	市の政策や地方行財政などの調査研究に要する費用で、交通費や宿泊費など。
研修費	研修会を開催するための費用や先進地の事例などを学ぶ研修会に要する費用で、会場費や参加費など。
広報費	住民に報告及び周知するために要する費用として、ニュースレターや市政報告書など。
広聴費	市政に関する住民の要望や意見を伺う時の費用で、会場費や印刷費など。
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料の作成に要する費用で、印刷製本費やコピー機のリース代など。
資料購入費	調査研究活動のために必要な書籍や新聞雑誌の購入や有料データベース使用料など。
事務費	調査研究活動に係る事務に要する費用で、コピー代や消耗文具など。

ここが聞きたい!

一般質問



岩井 秀一
(志成会)

子どもたちには事前配分が望ましいと考える

(答) 考え方は理解でき、賛成である

問 5歳児までの教育環境について、現状把握と将来への夢はあるのか。

市長 本市のかけがえのない宝であり、経済的負担の軽減などの取り組みにより、子どもが健やかに成長するための環境整備を推進していく必要がある。

問 子どもたちへの虐待事例はあるか。その対応はどうか。

市長 平成28年度は30件発生している。学校および関係機関と要保護児童対策地域協議会を設置して早期発見・早期対応に努め、適切な支援につながるよう取り組んでいる。

問 性犯罪に対する罰則が大きく変わるが、防犯教育の現状はどうか。

教育長 全小学校で、警察からも指導を受けながら、毎年実施している。機械に頼る防犯も必要だろうが、本市では地域の人の目で、人を育てる教育を行っていききたい。

問 高齢者の虐待事例はあるか。提供などにより把握に努めている。

市長 相談や対応の窓口として、地域包括支援センターを設置している。平成28年度は20件の相談があり、うち5件を虐待事例と判断し対応した。

問 高齢者に対する医療費助成制度は十分に周知され、機能しているのか。

市長 申請することも知らない市民に、寄り添っていると伝えるのか。申請は法令で定まれていることである。問題はあってもないが、やめることはできない。互いの情報を知ることができるとある。今後改善していきたい。



子どもや高齢者に優しいまちに向けて



内場 恭子

すべての子どもたちの学校給食の無償化を

(答) 教育長 給食費無償化は国策でやるべき

問 子どもにどう育ててほしいのか。市長の教育大綱への見解は。スポーツ環境整備状況はどうか。

市長 心豊かに、たくましい子に育ててほしい。「教育立市古賀」めざす。

問 グリーンパークのスケートパークの一部が水没している。対応すべきだ。

市長 建設当初から、この排水が問題と認識。適切な対応をしたい。

問 認識しても対応しない体制が問題。就学援助入学準備金の増額を

問 義務教育費の負担軽減をし、就学援助も活用しやすくしてほしい。

教育長 保護者負担軽減を努力している。就学援助の支給基準や手続きをわかりやすくしていく。入学準備支援金を8月から4月にする準備中。今、国が入学準備支援金を倍額にする案を出しており、財政課と検討をしている。

市長 個人的には、幼児から高校までの教育費は公費負担にすべきと思う。教育委員会と検討し、限りある財源の中でできるだけのことをする。

公立小・中学校の給食を無償に

問 第3子のみではなく、すべての子ども

たちの給食を無償化すべきではないか。

市長 予算の使途は教育部局。施策に優先順位をつけて使っていきたい。

問 全国55市町村で、給食の無償化が進んでいる。研究の価値がある。

市長の返問 古賀市は、教育費に1億2800万円の人的支援をしている。55市町村と同様のことをしているのか。各自自治体は、特色ある支援を行っている。市は人的支援を優先的にしている。

返問への回答 55市町村の他の支援は調べていない。しかし、どの自治体も様々な支援を行っているはずだ。

教育長 給食の無償化は国策でやるべきと考えている。



制服リユースの取り組み

一般質問

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



古賀 誠視
(山海会)

古賀市総合防災マップの見直しを

(答) 被害想定も加味し書き方など検討

問 古賀市総合防災マップでは、古賀西・

花見小学校の「指定避難所」に指定されている各公民館が、高潮・津波時に利用できない両校区の避難先について、見直しを検討し、市民が安心できる防災マップにするべきだ。

総務部長 防災マップも分かりづらいつの指摘もあり、見直しも含め、県が想定している被害想定も加味し、避難所一覧の書き方など充分配慮し、検討する。

問 災害時など、福祉避難所6カ所での利用見込み者はどのくらいか。

保健福祉部長 サンコスモ古賀など6カ所で791人の受け入れを見込んでいる。また、高齢者人所施設などを避難所として、検討していきたい。

問 災害時の各福祉避難所の担当職員の名や担当課など事前の取り組みは。

保健福祉部長 サンコスモ古賀では担当する2人は割り当てているが、ほかの所では人的配置はできていない。庁内で、福祉避難所など、今後のあり方検討委員会を立ち上げ、関係部署で検討していく。

問 熊本地震では避難者の68・7%が車中泊を経験している。古賀市として車中泊へ

の取り組みは。

総務課長 県は、現在防災計画の修正作業に入っている。その中に車中泊の取り組みもあり、県の防災計画の修正ができてから、市も見直しを実施する。

問 消防団では、災害に備え、災害救助などの訓練や研修が必要ではないか。

市長 災害時の人命救助などは消防署が担う。消防団は後方支援が重要な役割となる。後方支援のあり方について粕屋北部消防本部と連携し研究したい。

問 消防団員の確保への取り組みは。

総務課長 消防団幹部と協力しながら、将来のあり方を検討している。



頼りになる防災マップへ見直しを



田中 英輔
(山海会)

掲げた「がん検診受診目標」達成への決意は

(答) 目標達成に全力で取り組む

問 「がん」は増加し国内の罹患者数は年間約64万人、3人に1人が「がん」で死亡している。古賀市でも死亡原因トップの疾患である。2007年に「がん対策基本法」が制定され、本年は第3期がん対策推進基本計画が策定される。古賀市の「がん」対策の状況は。

市長 「がん検診」の受診者は増加しており、早期発見につながっている。今後も受診者の増加に取り組む。

問 国際医療福祉大学が行った二次医療圏ごとの「がん」死亡率の研究で、古賀市を含む粕屋医療圏は、344医療圏で「肝がん」が女性25位、男性33位で、「がん」全体でも高位にある。古賀市の現状分析と対応は。

保健福祉部長 肝炎ウイルスも大きい。糖尿病など生活習慣病の影響も強い。その予防対策に取り組んでいる。

問 予防に勝る治療はなしと言われる。第4次総合振興計画の2021年がん検診受診者指標は1万2200人である。「がん対策基本法」は検診目標50%を掲げている。この指標はどの位置づけているか。

保健福祉部長 重要な目標であり、これに近づけることをめざしたい。

この指標はどの位置づけているか。

問 市長は受診目標1万2200人を「必ず達成する」という意気込みはあるか。

市長 目標であり全力で取り組む。

問 がん予防や、生活習慣改善、がん検診などの受診促進に、啓発やがん教育は重要である。市民に身近で健康づくりに関わっている各推進員の皆さんの役割は大きい。地域格差がある。充実へ積極的な対応を求める。

その他の質問

戦争終結から72年 戦争・被爆実相の継承を

		死亡率	粕屋圏の順位
全がん	男性	108.0	53
	女性	103.5	75
肝がん	男性	137.2	33
	女性	137.7	25
肺がん	男性	112.2	60
	女性	117.4	41
胃がん	男性	105.9	111
	女性	100.2	176
大腸がん	男性	92.2	237
	女性	103.2	130

全国344の二次医療圏での死亡率と順位



清原 哲史
(連)

企業誘致の進捗状況はどうなっているのか

(答) 国・県との協議を実施している

問 玄望園、JR古賀駅周辺の開発については、開発に向け一步を踏み出したが、高木地区、今在家地区の開発の進捗状況は。

市長 進捗状況は、地権者との協議や土地利用転換に係る国・県との協議を実施。また、誘致活動も予定している。

問 どのような業種を、何社訪問調査されるのか。

市長 具体的には言えないが、今年の夏までに何社かをまとめて、2回訪問し、見込みがあればトップセールスを行う。

問 高木地区、今在家地区を候補地として示し、誘致されるのか。

市長 業種によっては進出する地域が限られるので、そういう会話になる。

問 年次計画を組んで何年後までには完成させるというものがあるのか。いつできるか分からないところに進出することにはならない。

商工政策課長 誘致先のスケジュールと企業訪問との関係だが、いつできるかが分かっているわけではないが、今の段階では言えない。

問 年次計画がないとずるずる延びてしまう。今後計画を立てるつもりはあるか。

商工政策課長 県との協議をしているが、

ハードルをクリアするための中身が見えてくれば、今後のスケジュールは精度が高まってくる。

問 福津市、新宮町はそれらの規制をクリアし開発している。開発には市の強力な支援が必要だが、いかがか。

建設産業部長 市としては、できるところは協力したい。

問 地元任せではなく、市がきちんとした方針を立て、地元への働きかけ、県との調整をしていくべき。



県下2位の出荷額を誇る食品加工製造業



伊東 洋子
(山海会)

高齢者の健康づくりと食の充実の取り組みは

(答) 健康寿命延伸のためにも重要と考える

問 高齢者の健康づくりをもっと身近にするために、地域の公園をニーズに合わせリノベーションしては。

市長 公園施設長寿命化計画を策定し、計画的に取り組んでいる。

問 公園に来ている高齢者の多くが、ベンチ・木陰が欲しいとのこと。要望は把握しているか。

都市計画課長 毎年、区長からの要望書提出により把握している。

問 まちのあちこちにベンチを置き、公園を含めユニバーサルデザインのまちづくりをすることで、市民の健康づくりに取り組める環境につながると考えるが。

市長 その通りだと思う。

問 地域の公民館でできるヘルスステーション事業を広げるためには。

市長 サポートをする人材育成や、活動支援の在り方などが重要。

問 クロスバールこがの市民会員は9000人。5万8千人の人口に対して、市民に公平な施設になつていくか。

市長 利用者が増えてほしいと思うが、民間の施設が増加して減少傾向にある。

問 次期の指定管理選定時には、クロスバ

ールこがと、東医療センター、看護大学が連携してNPO法人を立ち上げ、運営していく視点は持てないか。

教育部長 クロスバールこがの運営に関しては条件なども含め考えていきたい。

高齢者の食に対する取り組みは

問 配食サービスを申請しても受けられなかった人がいる。低栄養状態にある高齢者を把握し改善につなげているか。

保健福祉部長 申請に漏れた方にはケアマネジャーと連携し個別に対応している。

問 買い物難民解消のための対策は。

市長 コスモス広場の移動販売、公共交通の維持・改善を行っている。



公園を含めてユニバーサルデザインに

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



福崎 智之
(自由クラブ)

古賀市の情報戦略について、心がけはありますか

〔答〕 正確・信頼、親しみやすく、分かりやすく

問 情報発信は、トップのセールストークが一番効果的だと考えるが。

市長 市外には本市の魅力や、市民にはふるさとの誇りを持つよう取り組んでいく。

問 行政情報の発信、受信として効果が期待できる取り組みは。

市長 公式ホームページのリニューアル、SNS活用など、時代にあった情報発信・受信を研究していく。

問 表現力、メディアの特性、使いこなす力を持つ部署、情報戦略に関する人材育成に力を入れるべきと考えるが。

市長 能力を発揮しなければならない部署は企画課広報係。広報に関する才能はもちろんだが、本市を愛する気持ちがないと才能は発揮できない。スキルを身につけることにも取り組んでいきたい。

問 市長コメントを迅速に発信することが大事なことはないか。

市長 迅速な発信を心がけていきたい。

学校ICT化について

問 古賀市の学校ICT環境整備は。

教育長 電子黒板を全小・中学校に整備。ICT機器利活用に向け、研修会を実施。古賀市学校ICT推進委員会を立ち上げ、

通知表、成績処理だけでなく、指導要録の電子化も今年度中に整う予定。

問 情報化社会で生きて行くために身につけておくべきモラル教育は。

教育長 各校の教育指導計画に基づき、総合的学習時間や道徳、特別活動において関係機関と連携しながら計画的に取り組む。

問 デジタル環境を整備したデジタル特区を学習室に整備することはどうか。

教育長 そのアイデアはバクらせていただきたい。その大前提として情報モラルの学習も必要。

※ICT・情報コミュニケーション技術



プログラミングの学習



吉住 長敏
(連)

市内墓地霊園の需要、必要性を把握すべき

〔答〕 将来、市民が困らないよう把握する

問 市内の墓地現状は。

市長 市で許可している墓地は6カ所で公営墓地はない。福岡市には公営墓地が3カ所ある。

問 墓地経営主体の認識は。

市長 厚生労働省の墓地経営・管理の指針では永続性や安定性の観点から地方公共団体の経営主体が原則だが、宗教法人、公益法人なども可能と認識。

問 今後の霊園墓地の地域需要は。

市長 地域需要の調査は行っておらず把握していない。市民からの特段の要望などは伺っていない。

問 旧墓地資料で調査すると旧集落周辺の土葬で始まり、昭和30年度以降、段々と納骨堂に移行している。しかし新たな花見舞の里、花鶴などの市街地住人にとって、需要が相当に見込まれる時代が迫っていると思われる。

市長 どなたもルートがあり古賀市民が古賀市にないと困るといような先行き予測は今は難しい。

問 需要があるかないかは、何かをよりどころに判断すべきでは。

市長 専門業者などにノウハウを聞くこ

ともありえる。将来、市民が困らないようにするという意味では指摘の通り。

問 直近の墓地霊園申請の状況は。

環境課長 平成19年、2640平方メートル。

問 過去、古賀市天神6丁目で行った行政トップが主体的に動いて汐入墓地と納骨堂ができた背景がある。まずは現状、実態を知ることから始めるべき。

市長 把握の仕方は色々ある。建設中の墓地の状況、納骨堂の空き状況の推移などしっかりと把握に努める。

その他の質問

臨時職員の残業代支給制度化

外国人労働力の現状と課題とは



古賀町時代に先導した汐入墓地・納骨堂



阿部 友子
(連)

ワクチン接種後の追跡調査と被害者救済は

(答) 救済制度の案内をし、相談に応じている

問 古賀市では子宮頸がんワクチン接種者について、速やかに接種後の追跡調査を実施したが、その後は。

市長 アンケート調査により、副反応ではないか、との相談が3人からあった。被害者には、救済制度の案内を行うとともに、生活または治療に関する相談に応じている。できる限りの支援を行っている。

問 副反応に苦しむ被害者の方々は今、東京、大阪、名古屋、福岡において、119人の方々が国と製薬会社2社に賠償を求め訴えを起こしている。

「失った普通の生活を返してほしい」「二度と同じように苦しむ子を出さないためにできることをしたい」。少女たちは、車いすや杖をつきながら、必死の思いで法廷に立ち現状を訴えている。

しかし、国と製薬会社2社はともにワクチン接種と健康被害の因果関係を否定している。

国がその事業により少女たちの未来を奪って苦しめている。接種を推奨した古賀市にも責任がある。

目の前の窮状に、国の結論を待っていては少女を救えないと、足利市など、市にも

責任があると独自に救済を進めている自治体もある。国の救済制度は時間がかかる。古賀市独自で救済を。

市長 大変つらいところである。国の動向、他市の状況を踏まえ鋭意検討する。

古賀市の観光行政は

問 宗像市の世界遺産登録の動きによる古賀市への影響について伺う。

市長 周辺の人の流れが変わることを予想していて、古賀市においても人を呼び込む工夫が重要と考えている。

古賀市は「食のまち」としての産業観光もあり、今年度、観光拠点の整備の可能性について検討する。



裁判所前で訴える被害者の方々



平木 尚子
(公明党)

よりよい循環型社会をめざすには

(答) 3Rの徹底で、分かりやすい分別に

問 古賀清掃工場の焼却施設で燃やされる可燃ごみに金属が混入し、焼却施設が緊急停止した事案を受け、古賀市のごみ処理の現状は。

市長 古賀市から排出されるごみの総量は、ほぼ横ばい傾向だが、古紙等の集団回収量は年々減少している。

問 可燃ごみ、分別収集のごみの出し方について問題点はないか。問題があれば、その対策をどう考えるか。

市長 可燃ごみでは、ごみ袋の中にリサイクルできる紙類や金属などが、少なからず混入していること、また、分別収集では、分別区分の問い合わせが多くあることが挙げられる。今後とも3R（リデュース・リユース・リサイクル）の徹底を呼びかけるとともに、分かりやすい分別方法の啓発に努めていく。

問 食品ロスへの取り組みの進捗状況と、今後の予定は。

市長 市民の一人ひとりが、食品ロス問題に関心を持つことは、ごみの減量になるとともに、残さず食べる、無駄にしないなどの食の大切さを考えるうえでも重要であると捉えており、広報こがやホームページな

どを活用し、食品ロス削減に向けた啓発を行っている。市役所の市民ホールにおいてパネル展示を行っているが、今後の取り組みとしては、まつり古賀などの多くの市民が集う場においても、継続的に啓発を行いたい。

また、市民向けのみならず、市内の飲食店に向けた食品ロス対策として、食べ残しや作り過ぎなどを減らす啓発を県と連携して取り組んでいく。

その他の質問

さらなるバリアフリー社会をめざすには



正しい分別が望まれる分別収集

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。
◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議事録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



高原 伸二
(志成会)

職員の停職・降任の報道について

(答) 信頼回復のため、職員全員原点到立ち返る

問 「処分が軽すぎる」の市民感情をどう感じるか。

市長 新聞報道だけを見ると、ごもつともだと思っ。

問 処分（停職6カ月・降任）に至った経緯は。

市長 報道されなかった事がいくつかある。

- ①逮捕の翌日釈放
- ②不起訴になるのが異例の早さ
- ③不起訴者に重い処分は判例上できない
- ④タクシーで帰るつもりで、自らタクシーを呼んでいた
- ⑤自宅の駐車場にあった窃盗した車両を、不審車両と思ひ、自ら通報

など、事実の判断（①②は、事件の重要性。④⑤は、事件を起すつもりがない証明）や、諸般の事情を総合的に考慮の上判断した。

問 今後、どう信頼回復に努めていくのか。

市長 改めて防止策を各部門で協議し、各課長から職員への情報共有、指導を行い、併せて全職員対象の倫理研修を行う。

※紙面の都合上、詳しくはインターネット議会中継をご覧ください。

後期基本計画の取り組みは

問 待ったなしの企業誘致施策にどう取り

組むのか。

市長 企業情報収集の成果を活用し、トップセールスも含め、企業誘致実現をめざす。

問 玄望園土地区画整理事業のために、市の予算を執行することがあるのか。

建設産業部長 事業化の実現に向けて支援するため、費用の持ち出しがある。

問 新原高木地区・今在家地区の、土地利用転換とは。

商工政策課長 想定される場所が調整区域（建築に厳しい場所）であり、また、農振農用地（農業を推進する場所）であるため、二重の法令をクリアしなければ開発ができない。



インターネット議会中継中の模様



村松 謙二
(希来里)

決議で指摘した、減便の影響調査は行ったか

(答) 西鉄が行う調査報告を待って把握したい

問 3月定例会の決議では、減便の影響について調査し、早い時期に代替措置を講じるよう指摘していたが、今日までその影響や実態を調査したか。

総務部長 例年5月に、西鉄がOD調査を行い、この報告を聞いて把握するが、まだ報告が来ていないので、早く入手して減便の影響など実態を把握したい。

問 OD調査の結果はいつ出るのか。

総務部長 例年は、9月くらいだが、この場で、明確にいつと答えられない。

問 私たちは、6人の議員で4月22日に緊急の住民との意見交換会を行った。意見の一部を紹介する。古賀駅東口発の青柳・小竹方面のバス便は、夜18時のあとは19時55分まで約2時間もない。乗り遅れると約2時間も待たされ、さらに19時55分に乗れないと、後のバス便がないため、帰る手段がない。こういう実態を把握していたのか。

市長 このような具体的な実態は、把握していなかった。個人的には、厳しいお叱りは受けている。

問 だからますます、利用者は減っていくわけで、私たちが住民との意見交換会をしたことで、知らない実態を聞かされ気づい

た。こういう事例は減便だけの影響ではなく、そもそもダイヤの組み方自体に問題があるのではないか。市役所からサンコスモ行は3便、帰りは4便しかないが、知っていたか。

市長 こと細かくまで把握していない。

問 こういう実態について何も対策を考えないことが大きな問題だ。利用者からみたら利用しにくいダイヤ・便数・路線になっている。我々が行った市民の意見を聞くことを執行部も早急に実施するよう、努力をしてほしい。

※出発地からの目的地への移動の情報を収集すること

JR古賀駅東口発 小竹方面行

行先	6
グリーンパーク	
市役所・青柳	
14	
15	10
16	12
17	
18	00
19	55
20	
21	
22	

18時00分のおとは115分間（約2時間）の空白。後の便はなし

利用したいバス便がない時刻表



奴間 健司 (希来里)

フレッシュヤーズノートで新規採用職員育成を

(答) 現時点での活用は考えていない

不祥事に対し市長記者会見と市長自身の処分が必要だったのではないかと

問 職員の不祥事などをどう思うか。

市長 不信心、不安感を与え申し訳なく思う。職員全員が、服務規律の徹底、綱紀の保持に努める。

問 記者会見をやるべきではないか。

市長 緊急記者会見はやっていないが定例(記者懇談)会で説明している。

問 停職6カ月、課長補佐への降任処分という懲戒免職の次に重たい処分としたのは飲酒運転をしたからか。

市長 飲酒運転したと判断している。

問 市長、三役の減給処分は最低必要だったのではないか。飲酒運転撲滅の声を上げていないのは不思議だ。

市長 今回は失錯行為という論理的に説明できない行為であり、通常の飲酒運転とは違っていると考えている。飲酒運転撲滅は今後も取り組む。

職員採用要項の早期公表、採用説明会開催、フレッシュヤーズノートの活用を

問 古賀市は要項を7月に公表しているが春日市などは4月だ。早めに公表したらどうか。

市長 功罪も合わせて検討したい。

問 春日市で実施している、市長などによ

る採用説明会やSPI能力検査は検討の価値があるのではないかと

市長 良い人材の採用は重要なテーマであり、労力を惜しむものではない。より良い方法を模索し、良いことは速やかに実行したい。

問 採用後半年間、手書きによる業務日誌や自主学習を進めるフレッシュヤーズノートを活用したらどうか。

市長 先輩職員によるサポーター制度の定着を図りたい。市役所職員として最低限の知識を備えるためのデータブックを全職員に配布する。

職員採用説明会やSPI3の導入

自治体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
古賀市	SPI3能力検査 公務員試験対策不要			公表	申込	1次		2次	3次
春日市	公表	申込	1次	2次	3次	4次			
宗像市	公表	申込		申込		1次	2次	3次	
粕屋町	建築・土木ツアー			公表	申込	1次	2次	3次	

職員採用要項の早期公表と採用説明会を

福岡女学院看護大学との パートナーシップ協定に基づく企画(第3弾)

5月19日 第1委員会室

今年も福岡女学院看護大学の学生による議会インタビュールームが実施されました。大学側は4年生の学生3人と松尾教授、議員は16人の参加でした。

○ヘルス・ステーションなど、市の事業に対する議員の関わりは

・公民館活動として、地域の方とともにヘルス・ステーション(健康サロン)の立ち上げや、実行委員として運営に関わることもある。

・地域のサロン活動の中で、測定会などを行っている。その場合の行政とのつなぎ役をしたり、時々参加する。子育てサロンも併設しているので、若いお母さん方への声掛けをしている。

○議員と住民との関係について

・住民のニーズを把握するためには、議会報告会を開いて意見を聞いた。議員が個別に話し合いの場を持つなどしている。議会だよりによって、情報の発信をしている。



学生からのインタビューを受ける議員

○保健師などとの関係

・市民がより健康になるためには、地区担当の保健師が必要と考える。大学の学生に大いに期待したい。

参加した学生は、古賀市内のヘルス・ステーションを訪問し、現場の経験を通して学びを重ねているとのこと。大学の感想として、「地域に出て地域の中からニーズを把握することを心がけているが、議会も同じように活動されていると思った。市民の健康を守るということで、議会との連携が必要と改めて感じた」とお話しいただきました。

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。
◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

総務委員会

4月28日

委員長 森本義征
 岩井秀一
 井之上豊
 副委員長 村松謙二
 田中英輔 清原哲史

組織の活性化で

行政サービスの向上を

人事課行政管理係より、平成29年4月1日現在の職員配置、行政組織機構などについて報告があり、同日付で、昇任、異動退職者を含む95人の人事異動を行いました。新設の組織は、文化課に市史編さん準備係、青少年育成課にししゅ児童センターを配置。管理的地位にある職員に占める女性職員の割合目標は30%だが現在22.5%、育児休業取得する男性職員の割合目標は20%以上だが0%。

問 保健師の各課への配置人数等は。

答 予防健診課に8人、介護支援課に4人、子育て支援課に1人の合計13人。産休職員は1人、病気休暇1人。

問 人事評価は、どの部分が評価対象か。評価が、どう人事異動に生かされるか、異動希望調査はしているか。

答 評価対象は、実績、意識姿勢、能力評価の3点。人事異動は、人事評価と本人の自己申告書を参考にしたい。



災害時の生活に必要な備蓄品

地域防災計画は

市民への周知が大事

危機管理係より、古賀市消防ポンプ操法大会、安心安全まちづくり大会の開催案内、第7分団の消防車両買い替え、その旧車両は株正興電機へ譲るとの報告がありました。

問 備蓄品の計画および市の地域防災計画を見直す予定はあるのか。

答 今年度は、備蓄食を中心に整備したい。防災計画の見直しは、具体的な部分が出てから、合わせて対応する。

問 津波の影響による、河川や水路での遡上の影響調査および周知啓発は。

答 県土整備事務所などと連携し調査を行う。津波などの周知啓発は、浸水区域をホームページに掲載し、出前講座などを活用し周知する。

常任委員会報告

AED(自動体外式除細動器)

正しく知って、救える命

管財係より、岡部記念福祉会館の解体について、6月定例会に設置条例の廃止を提案し、7月以降に解体工事を着手、跡地は駐車場にして整備すること。行政監査の指摘を受け、AED管理規程を定めたこと報告がありました。

問 AEDは設置しているが、場所の周知は十分か、また設置基準や取扱指針はあるか。

答 今回の管理規程には、施設の正面玄関付近であるとかなどの案内表示の設置を行うよう決めている。設置基準は設けていないが、設置状況や使用状況は、管財係に情報の二元化がされるため適時対応できる。

問 遠隔システムで監視できる所は。

答 コスモス館、市民体育館、武道館の3カ所。



AED設置・舞の里小学校体育館

バス減便の影響調査は

事業者任せ

経営企画係より、平成28年度の西鉄バス利用実績は、延べ25万6482人で前年比1642人の減。収入は、約3906万円。前年比5.7%増。70歳おでかけバス事業の3月末の登録者数は573人で、利用枚数は4604枚の実績とのこと。

問 3月議会での附帯決議への対応、4月からのバス減便の影響調査は。

答 議決は真摯に受け止め、改善しつつ、補完交通も検討していく。減便影響調査は、利用者数も念頭に、西鉄によるOD調査を実施し、把握したい。

問 70歳おでかけバス事業の利用率は把握しているか。

答 対象者人口が約9000人で、申請者は、3月末で約600人である。



西鉄バス減便の影響は大きい

文教厚生委員会

5月1・9日

委員長 伊東 洋子
 吉住 長敏
 副委員長 平木 尚子
 阿部 友子 福崎 智之
 内場 恭子

平成29年度古賀市教育大綱 改定と主要施策について

教育部より、平成29年度古賀市教育大綱の改定・古賀市教育行政の目標と主要施策の説明がありました。主なものは次の通りです。

古賀市教育大綱より

○学校施設長寿命化計画の策定と空調設備導入に向けた研究を進めます。(項目追加)

○制服のリユースや数のおけいこセットの市費購入等の教育費負担軽減。(項目追加)

○青少年の健全育成事業の充実に、「児童館における居場所づくり」の文言追加。

古賀市教育行政の目標と主要施策より

○少人数学級対応講師配置による原則全小・中学校35人以下学級の実施。

○食育推進委員会の充実と古賀市版リーフレットを活用した食物アレルギー対応の充実。

○いじめ問題に重点を置いた学校生活・環境多面調査を活用した人間関係づくりと学級集団づくりの推進。

○地域に開かれた学校づくりの推進に向け、古賀モデルPTCAを活用した学校

運営の推進（Cはコミュニティ）。

その他、生涯学習社会における社会教育の充実や、文化芸術活動の創造・文化材保護・活用、健康スポーツライフ推進などの報告がありました。

問 開かれた学校づくりの古賀モデルとは。

答 一つはPTCA。文科省が推進するコミュニティスクールに根ざしたものになる。もう一つは強い小・中連携。



古賀市小・中学校長によるグランドデザイン発表

食物アレルギー対策について

問 昨年末に作成した古賀市版食物アレルギー対応方針リーフレットとは。

答 学校教育課が中心となって栄養士などと協力して作成。アレルギーが起きた時の対処も含む。

安否確認緊急対応コール

事業で見守り強化

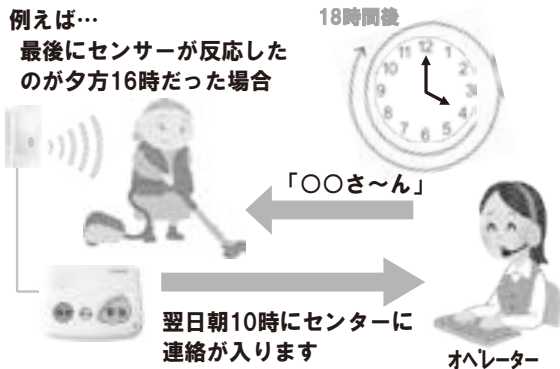
介護支援課より、一人暮らしの希望者宅に人感センサーを設置し、その方の動きが18時間以上ない場合、安全センサーに通報が行き、協力員などの方々が安否確認をするなど、見守りが強化されるという事業が始まるとの報告がありました。

問 いつから実施されるのか。

答 今年6月から開始されるが、全員に家庭訪問を行い、理解していただいた方から設置しスタートする。

問 いざという時に18時間という設定で間に合うのか。

答 短くすることで過度な監視につながる場合があり、18時間は適当だと判断している。



古賀市安否確認緊急対応コール事業のしくみ

古賀市が「保健医療2035推進シティ」に

2035推進シティ」に

予防健診課より、厚生労働省が推奨する「保健医療2035推進シティ」に認められたことについて報告がありました。

○目的

保健・医療・福祉の取り組みの将来ビジョンを明確にし、健康なコミュニティづくり、地域包括ケアシステムのさらなる推進を図るため。

○背景

- ・高齢者が現在は4人に1人、2035年には3人に1人になる。
- ・在宅で療養介護を要する人を、地域で支える受け皿づくり。
- ・若年層の健康問題 など。

○「保健医療2035推進シティ」は、県内では古賀市と福岡市のみ

問 特定健診の受診率向上のためには。

答 新たな事業として「けんしん割」を考えているので、受診率を上げたい。



保健医療2035推進シティシンボルマーク

市民建産委員会

4月26・27日

委員長 奴間 健司
高原 伸一 古賀 誠規
副委員長 松島 岩太
渡 孝一 姉川さつき

観光拠点設置

可能性調査委託

商業観光係より、観光拠点設置可能性調査委託について説明がありました。

委託業者の選定は公募型プロポーザル方式で実施、5月に公募。調査の内容として、基本条件の整理、観光拠点の設置可能性調査、本場に必要性があるのか、設置場所をどこにするか、実際に観光拠点を設置した場合の運営方法をどうするのか、他に概算工事費を算出したいとの報告がありました。

問 調査委託の期限はいつか。

古賀市の活性化に向け、企業と農業と観光を一体とした取り組みが大事だ。

答 今回の調査の期限は、年度末の3月23日ごろを予定。この観光拠点調査に、大いに期待しており、観光に関する情報発信・対外的な情報発信など強化し、農林業、商業製品のさらなるPRを図り、観光事業にしっかりと取り組んでいきたい。

住民票など証明書の

コンビニ交付が始まる

市民係より、平成29年4月20日よりコンビニ交付を導入。20日の導入から25日までの利用実績は、住民票写しが2件で合計3通、印鑑証明については1件で合計2通の発行が行われたとの報告がありました。

問 住民票など6万1000件の発行があり、採算性の点からもコンビニ交付を3割、1万8000件程度を目標にしたいとあった。ランニングコストや初期投資、料金も50円値引きすることから財政上のメリットはないのでは。

答 個人番号カードの発行枚数が、コンビニ交付の普及に大きくかわる。現在7%弱(3990件)のカード交付状況で、3割は高い目標であるが担当課としては、当面3割程度をめざしていきたい。

問 情報が漏れた場合など、万が一トラブルが起きた時の緊急対応マニュアルは、どう進めているか。

答 庁内で、セキュリティに対する協議を3回実施。個人情報について総務課と情報管理係で協議を進めている。



スーパーの建設が進む高田地区

高田土地区画整理事業の

進捗状況は

都市計画課に対し、委員より質問。

問 高田土地区画整理事業に関連して、進捗状況の報告を願う。

答 高田土地区画整理組合が、施行する造成工事について、2月に竣工。商業ゾーンは、オリックスとの借地契約に基づいて今後店舗を建てる計画で、11月に、スーパーのオープンを予定。前後してスポーツジム、ドラッグストアなど計画されている。地区計画変更で、商業ゾーンが住宅ゾーンに変更になり、開発の認可が必要で、早くても6月以降に住宅ゾーンの造成工事が始まる。

「原爆と人間」の

パネルを市に寄贈

人権センターに対し、委員より質問。

問 古賀市の原爆被害者の会が残念ながら解散となった。それに伴い「原爆と人間」のパネルが、市に寄贈された。検討の結果人権センターで預かることになったが、例えば8月に「原爆と人間」展を開催するなど、積極に取り組んでほしいと思うが。

答 8月の終戦を記念し、平和を考えるような時期に、パネル展を開く考えもある。また、貸し出しの体制を整えて各小・中学校など学校の中で、パネルを活用した学びの場を設けるように整備し、提案したい。



寄贈されたパネル



★5月31日

鹿児島県志布志市議会

議会改革の取り組みについて視察

災害時における議会の危機管理体制について、古賀市議会の危機管理体制の内容や経過などを説明しました。その後、災害対応要綱、政策推進会議、議会報告会などについても熱心なやりとりが行われました。

★7月13日

三重県名張市議会運営委員会

議会改革の取り組みについて視察

古賀市議会は、議会運営委員会副委員長が、議会改革の取り組みの経過や、今後の課題などをパワーポイントで説明し、その後、自由討議などが行われました。



古賀市議会で、視察は極力所管の委員会に対応し、他市議会の議員と交流ができるよう心掛けています。今回の視察の経験がお互いに有意義なものとなれば幸いです。

平成29年古賀市議会

第3回定例会会期日程(案)

会期 8月29日～9月26日

29日間

日	曜	開議時刻	会議名
8/29	火	9時30分	本会議(初日)
9/1	金	〃	本会議(2日目)
4	月	〃	常任委員会
5	火	〃	常任委員会
6	水	〃	補正予算審査特別委員会 決算審査特別委員会
7	木	〃	一般質問
8	金	〃	一般質問
11	月	〃	一般質問
12	火	〃	決算審査特別委員会①
13	水	〃	決算審査特別委員会②
19	火	〃	決算審査特別委員会③
20	水	〃	決算審査特別委員会④
21	木	〃	決算審査特別委員会⑤
26	火	〃	本会議(最終日)

注) 会期日程は、8月24日(木)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。

議会議録は、議会事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)

◎請願書の締切りは8月22日(火)午後5時です。

10年表彰

10年以上古賀市議会議員として活動された、3人の議員が表彰されました。



インターネット議会中継・録画配信中

インターネット議会中継をご覧いただくには、パソコンで
<http://www.city.koga.fukuoka.jp/> の

トップ画面⇒古賀市議会⇒インターネット議会中継⇒録画
中継⇒議員名か会議名で検索できます。

スマートフォン、タブレットでも見られるようになりました。



古賀市議会 中継・録画配信のQRコード



古賀市議会 HPのQRコード

訂正とお詫び

平成29年5月8日発行の市議会たより79号、別刷り下段のお詫びの欄内における記述に一部誤りがありましたので訂正しお詫びいたします。

○印二つ目 16ページ…の2行目

誤↓古賀中学校区に… 正↓古賀北中学校区に…

市民活動紹介 ボランティア 訪問 (25)

まちの草の根活動
紹介しま〜す!

みんなのいこいの場 「喫茶木よう館」

くだれでも気軽におしゃれりできる

地域の喫茶・花見東2区

「いらっしやい!」毎月第2・

第4木曜日、花見東2区公民館
に明るい声が響きます。

受付で50円を払い、好きな飲み物(コーヒー・抹茶しそジュースなど)を頼むと、エプロン姿のスタッフ(現在25人)が笑顔で運んでくれます。

7年目になりました。
木曜日は、野菜の移動販売や体操子育てサロンもあり、赤ちゃんを連れた若いお母さんから高齢者、大きなイベント時には育成会も交わり、笑顔いっぱい世代間交流の場になっています。



楽しい時間



みんなで七夕まつり

調理中のスタッフ



一人暮らしの高齢者が出かける場所がないことを心配していた関さん(副代表)から、「みんなが出てきて、おしゃべりできる場があれば」と相談を受けた荒金さん(代表)が賛同し、他の地域の事例を研究しながら、大久保区長の協力のもと、手探りではじめられ、仲間も増え、

「みんなの楽しむ姿を見て元気

をいただいています。初めての人も、気軽に喫茶を飲みに来てく

ださい。」とのこと。

連絡先：荒金 克子

(092)943-3428

平成29年7月九州北部豪雨災害により甚大な被害を受けられた皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

古賀市では、市役所ロビー、サンコスモ古賀、リーパスプラザが交流館に募金箱を設けています。皆様からの募金へのご協力をお願いいたします。
また、古賀市議会でも、被害に対し、議員互助会から義援金を送ることにしました。



市役所ロビー義援金箱

編集後記

今期の編集委員会も半分が経過しました。他市町の編集委員会は1年または2年で交代するところもありますが、古賀市は議員の任期4年間を通して編集委員をします。編集委員会は議会終了後の1カ月間、ほぼ週1回のペースで委員会が開かれます。その他に、原稿作成、写真撮影、取材などもあり、かなり時間を費やします。しかし良いこともあります。それは議会のおさらいをすることができるところです。何が大事で、何が課題であったか改めて考えることができます。議会を身近に感じていただくには広報が大事ですが、広聴にも力を入れる必要があると思っております。感想などをお寄せください。

(阿部)

議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福崎 智之
- 委員 阿部 友子
- 委員 平木 尚子
- 委員 古賀 誠視
- 委員 村松 謙二

表紙の言葉

どこまでも青く広がる空と、澄んだ古賀の海。砂の芸術祭では多くの笑顔も眩しく輝いていました。

第2回定例会の傍聴者は49人でした。ありがとうございました。
第3回定例会は8月29日(火曜日)開催予定です。
インターネットによる中継・録画配信も行っています。
ご利用ください。

インターネット
議会中継・録画配信中
古賀市議会 検索

